

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 丹治 拓未 (TEL) 0467-61-3399
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	14,222	18.8	704	249.0	619	230.8	646	—
2024年12月期第3四半期	11,969	△5.0	201	△72.6	187	△77.4	12	△97.4

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 638百万円(—%) 2024年12月期第3四半期 31百万円(△93.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	40.16	—
2024年12月期第3四半期	0.79	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	14,082	6,606	43.4
2024年12月期	12,875	6,027	42.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 6,112百万円 2024年12月期 5,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	19.6	1,000	179.3	750	86.6	700	369.6	43.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) 一、 除外 1社(社名) (株)eSP
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	16,108,800株	2024年12月期	16,108,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	266株	2024年12月期	266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	16,108,534株	2024年12月期3Q	16,108,592株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの緩やかな回復基調となっています。また、個人消費についても、持ち直しの動きがみられています。内閣府は2025年10月の月例経済報告において、景気の先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要であることに加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっているとしています。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、当社が注力するインターネット広告市場の2024年の市場規模は前年比9.6%増の3兆6,517億円となり、総広告費に占める構成比は5割に迫る47.6%となっております(出所：電通「2024 日本広告費」)。また、国内eスポーツ市場規模は2023年に前年比27.0%増の146.8億円となり、2024年は172.6億円、2025年は199.8億円と高い成長率で拡大する見込みです(出所：一般社団法人日本eスポーツ連合「日本eスポーツ白書2024」)。

このような事業環境の中で、当社グループはよりデジタル領域を中心に多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なコンテンツを提供し続けております。その中でも、ゲームエンタメ、面白プロデュース、eスポーツ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSプライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,222,000千円(前年同期比18.8%増)、営業利益は704,944千円(前年同期比249.0%増)、経常利益は619,467千円(前年同期比230.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は646,979千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益12,683千円)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントですが、サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① ゲームエンタメ

カジュアルゲーム領域、(株)カヤックアキバスタジオ及び(株)カヤックボンドでのゲームを中心とした受託開発が売上高の大部分を占めています。カジュアルゲームの中でもハイパーカジュアルゲームにつきましては、当第3四半期連結会計期間に新作タイトル「Spring Lancer」「Grapple Hook Hero」「ChainHavoc」の3本を正式にリリースしました。新作タイトルを3本リリースしたこと等の影響もあり、先行指標であるダウンロード数は直前四半期比では14.8%増の約9,796万件と過去最高になりました。この結果、ゲームエンタメ関連の売上高は7,999,211千円(前年同期比19.3%増)となりました。

② 面白プロデュース

既存概念をぶち壊すアイデア力と先端テクノロジーに精通した開発実装力によって、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験価値を生み出し、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告コンテンツを提供しております。近年の傾向として、デジタルとリアルの境目、広告とサービスの境目が曖昧になる中で、既存のデジタル広告領域にとどまらない多様な案件が増加しており、特に当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する高付加価値な領域にも進出しております。季節要因や大型案件の進行により短期的には増減が見られますが、通期では安定的な成長を見込んでおります。この結果、面白プロデュース関連の売上高は1,455,529千円(前年同期比8.0%減)となりました。

③ eスポーツ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しております。GLOE(株)のeスポーツ事業並びにトーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。当第3四半期連結会計期間におけるToname1の大会開催数は、コミュニティに寄り添った運営によりTCG(トレーディングカードゲーム)を中心に国内大会数が増加し、直前四半期比8.3%増の20,353件となりました。この結果、eスポーツ関連の売上高は2,212,169千円(前年同期比7.1%増)となりました。

④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「スマウト」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションや地域開発の受託などのサービスが売上高の大部分を占めております。当第3四半期連結会計期間末時点で、「スマウト」の累計登録ユーザー数は直前四半期末比8.2%増の約7.8万人となり、順調に拡大しております。「スマウト」の導入地域数も当第3四半期連結会計期間末時点で直前四半期末比0.7%増の1,150地域となり、市場の上限である自治体数約

1,700地域に対しての導入率が67.6%となりました。また、当第3四半期連結会計期間末時点での「まちのコイン」の累計登録ユーザー数は、直前四半期末比4.9%増の20.3万人と、こちらも順調に増加しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は1,094,259千円（前年同期比74.0%増）となりました。

⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、コロナ禍により業績が悪化した後、順調な成長基調にあります。また、前連結会計年度に当社子会社となった英治出版(株)の新刊が好調に推移しています。この結果、その他サービス関連の売上高は1,460,830千円（前年同期比47.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,207,383千円増加し、14,082,602千円となりました。主な要因は、関係会社株式売却等による現金及び預金の増加1,019,475千円、営業投資有価証券の増加289,571千円、建物及び構築物の増加298,052千円及びのれんの減少397,816千円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ628,431千円増加し、7,476,182千円となりました。主な要因は、買掛金の増加372,099千円、一年内長期借入金の増加148,482千円及び未払法人税等の増加199,817千円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ578,951千円増加し、6,606,420千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加646,979千円及び配当による利益剰余金の減少62,823千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年8月14日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、2025年11月13日付で公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,780,097	5,799,573
売上債権及び契約資産	3,282,682	3,305,394
営業投資有価証券	179,672	469,244
仕掛品	156,479	200,698
その他	566,865	410,559
貸倒引当金	△16,047	△14,252
流動資産合計	8,949,749	10,171,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	809,106	1,107,159
工具、器具及び備品（純額）	72,593	87,731
土地	626,311	636,311
その他（純額）	79,256	189,687
有形固定資産合計	1,587,267	2,020,889
無形固定資産		
のれん	884,874	487,058
その他	371,475	381,542
無形固定資産合計	1,256,349	868,600
投資その他の資産		
投資有価証券	638,757	476,983
繰延税金資産	156,986	226,159
その他	340,893	385,901
貸倒引当金	△54,786	△67,151
投資その他の資産合計	1,081,851	1,021,893
固定資産合計	3,925,469	3,911,384
資産合計	12,875,219	14,082,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	676,964	1,049,063
短期借入金	450,000	461,666
1年内返済予定の長期借入金	826,085	974,567
未払金	900,144	835,834
未払費用	354,144	291,008
未払法人税等	77,559	277,376
契約負債	162,964	166,222
預り金	1,175,921	1,174,151
その他	148,624	203,963
流動負債合計	4,772,408	5,433,854
固定負債		
長期借入金	1,991,975	1,957,981
その他	83,366	84,346
固定負債合計	2,075,341	2,042,327
負債合計	6,847,750	7,476,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,238	900,238
資本剰余金	1,144,758	1,145,562
利益剰余金	3,471,632	4,055,788
自己株式	△281	△281
株主資本合計	5,516,347	6,101,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,848	11,355
為替換算調整勘定	—	74
その他の包括利益累計額合計	2,848	11,430
新株予約権	40,113	37,789
非支配株主持分	468,158	455,892
純資産合計	6,027,468	6,606,420
負債純資産合計	12,875,219	14,082,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,969,215	14,222,000
売上原価	5,550,239	6,305,871
売上総利益	6,418,976	7,916,129
販売費及び一般管理費	6,216,983	7,211,184
営業利益	201,992	704,944
営業外収益		
受取利息	934	10,644
受取配当金	1,627	1,259
保険解約返戻金	5,855	7,237
為替差益	35,962	—
その他	20,744	21,369
営業外収益合計	65,125	40,510
営業外費用		
支払利息	9,244	19,621
持分法による投資損失	58,263	84,998
投資事業組合運用損	197	2,718
為替差損	—	18,285
固定資産除却損	8,857	—
その他	3,318	363
営業外費用合計	79,881	125,987
経常利益	187,236	619,467
特別利益		
固定資産売却益	21,921	271
投資有価証券売却益	—	103,155
関係会社株式売却益	—	235,622
事業譲渡益	—	5,345
持分変動利益	—	5,508
特別利益合計	21,921	349,903
特別損失		
投資有価証券評価損	—	60,173
減損損失	47,374	—
特別損失合計	47,374	60,173
税金等調整前四半期純利益	161,783	909,198
法人税、住民税及び事業税	130,866	354,527
法人税等調整額	8,448	△74,758
法人税等合計	139,314	279,768
四半期純利益	22,468	629,429
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,785	△17,550
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,683	646,979

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	22,468	629,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,769	9,295
為替換算調整勘定	—	74
その他の包括利益合計	8,769	9,370
四半期包括利益	31,238	638,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,062	655,561
非支配株主に係る四半期包括利益	12,176	△16,761

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

記載事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	137,481千円	131,839千円
のれん償却額	118,320千円	116,061千円